

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	利用定員10名に対して、指導訓練室等のスペースは106㎡あり、市の基準を十分満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	3	0	・指定基準は満たしている。職員の入れ替えがあるので、質を落とす事のないようきめ細かく指導していく事が必要。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	5	・下駄箱の段差、階段。 ・入り口階段にエレベーターがあると良い。 ・外階段・・・声掛けなどしている。 保護者アンケートによると、ライト設置や滑り止めスプレー等の改善に対して一定の評価は得ている。帰宅時等、見守りを行い事故防止に努める。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	1	・非常勤職員の参加が少ない。職員にヒアリングを行い、支援の質が担保できるように会議等設定を検討する。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	・できる限りの期待に応えられるようにニーズを聞き取るようにしている。また、必要により業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	3	検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	放課後連主催の研修、さいたま市主催の事業所向け研修等に積極的に派遣している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	利用時、またモニタリングの際に丁寧に本人の様子について聞き取り、支援計画作成に活かしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	2	作成を検討する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	職員全員で活動内容について打ち合わせしている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	会議等の場で新しいプログラムを立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	長期休暇では制作活動を取り入れる等、変化をつけて利用者を様々な角度からアセスメントするよう心掛けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	個別プログラム及びグループプログラムを実行している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	児童利用前に全員でスケジュールを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	2	0	些細な変化でも情報共有する事で、利用者の変化にアンテナを張るようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	可能な限り詳細に記録をとるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	各月の会議の際に個別の支援方針を決めている。モニタリングは児発管、本人、保護者の3者で行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3	0	・就労に特化しているということもあり、偏りはある。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画する。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	送迎時には利用者の1日の様子等を聞き、状況に応じた柔軟な支援をしている。また、学校側のケース会議等に必要に応じて参加している。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	1	・保護者を通じての情報提供はしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	3	・就学前ではないが必要性に応じて関わる前の事業所と連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	保護者や利用者の同意を得て情報提供するようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	0	・保護者に電話相談を勧めたり、相談したケースがある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	2	1	4	検討する。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	3	検討する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・定期モニタリング面談・送迎の時等に共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2	日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時にすべて説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	連絡ノートなどで把握し、必要に応じて電話等連絡をとり、話を聞く時間を設けている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	1	検討する。保護者からの希望も少ない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	契約時にすべて説明している。連絡を受けた場合には真摯に対応をとる体制でいる。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	ホームページにて活動概要を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	5	2	0	・写真の掲載についてはあらかじめ承諾を得ている。 ・個人情報は鍵付キャビネットに保管している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	保護者は送迎の際に連絡をとっている。利用者には、本人がきちんと意思を表せるように時間を長くとったり、ジェスチャーやイラストを用いて表現できるように支援している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	3	・保護者参加型イベントには、興味のある一般の方にも参加を呼び掛けている。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0	策定済み
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	7	0	0	避難訓練は地震と火災を想定し年に2回実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	虐待防止のための研修に、積極的に参加させている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	・契約の時に説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	0	・保護者からの情報に基づいて対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	ヒヤリハット、事故報告共に細かい事でもあげて周知するように努めている。